

ツール#8「地方保健部局ニーズ調査」

このツールは、地方保健部局ががんに関する啓発と教育に地域レベルで取り組む際のニーズに関するデータを収集するために利用される。このツールはイリノイ州保健局が策定したもので、州保健局と地方保健部局がどのように協力すれば、がんへの意識喚起および地域社会での教育の提供に最も有効かを見いだすために使用された。このアンケートはイリノイがん管理計画の普及のフォローアップとして、地方保健部局長および健康教育スタッフに配布された。調査は地方保健部局のニーズについて一般的な情報を引き出したが、保健局と ACS が大腸がん啓蒙に関する訓練を計画する際の補助として具体的な情報についても尋ねている(例、訓練を受けられる職員数)。アンケートは、がん管理計画の実施を支援するためのデータの利用例を示している。

ツール#8 地方保健部局ニーズ調査

イリノイ州公衆衛生局の慢性疾患予防・管理課は、先ごろ「がん予防・管理の推進：イリノイ州行動のための枠組み」と題するイリノイ州向け CCC 計画を策定しました。計画は 1999 年 11 月に地方保健部局長と健康教育担当職員に配布されました。地方保健部局との提携を通じて、この計画に略述した優先事項および関連活動を実施できればと願っております。

下記に記載した簡単な調査は、貴局が地元の地域においてがんの啓発と教育に取り組む際のニーズを最も満たすために、私たちはどのような協力ができるのかを探るためのものです。お手数ですが質問にお答えいただき、記入し終えた調査は 1999 年 12 月 22 日水曜日までに(添付の返信用封筒に入れて)次の住所宛にお送り下さい。

イリノイ州公衆衛生局がんプログラム健康教育担当 XXXXX (XXXX, Cancer Program Health Educator, Illinois Department of Public Health, 535 West Jefferson Street, Springfield, IL 62761)。

全州規模の協議事項であるがん予防・管理を推進するためのご協力に感謝いたします。

がんニーズ調査

地方保健部局名 (任意) : _____

局長名 (任意) : _____

電話番号 (任意) : _____ 電子メールアドレス : _____

ツール#8 (続き)

1. 貴局の地元の地域において、CCC の取り組みを支えるために、地方保健部局、イリノイ州公衆衛生局、および ACS の地域・地方事務所はどうすれば最も効果的に調整して協働できると思いますか？

イリノイ州全体ではどうでしょうか？

2. 貴局のがん対策スタッフは、がん関連の教材資源（印刷資料、視聴覚資料など）を手に入れるのに支援を必要としていますか？

はい いいえ

3. 貴局のがん対策スタッフは、がん関連のウェブサイト資源を見つけるのに支援を必要としていますか？

はい いいえ

4. 貴局のがん対策スタッフは、がん関連の広報アイテムを見つけるのに支援を必要としていますか？

はい いいえ

5. 貴局のがん対策スタッフにはどのタイプのメッセージ配信が最も効果的でしょうか？

ワークショップ 郵便物
電子メール 電話

6. 2000 年 3 月は全国大腸がん啓発月間に指定されています。イリノイ州公衆衛生局が ACS と共同で大腸がんに関する訓練を開くとすれば、貴局のがん対策スタッフは参加に関心があるでしょうか？ 訓練は貴局の最寄りの ACS 事務所で実施されます。

はい いいえ

7. 貴局のがん対策スタッフは、がん啓発および教育訓練のためにどのくらい遠くまで出張することができる・意志があるでしょうか？

出張はまったく不可能 半径 60～90 マイル
半径 30～60 マイル 半径 90～120 マイル

8. 貴局のがん対策スタッフが出張する場合、何曜日（複数可）が都合がよいですか？

月曜日 木曜日
火曜日 金曜日
水曜日

9. イリノイ州における CCC を支えるために、他にどのような方法が最も効果的だとお考えですか？

4.0 パートナーシップの構築

このセクションで紹介するツール

ツール#9、10「計画会議の招待状と登録用紙」

ツール#11、12、13「計画パートナーの関心度および参加誓約用紙」

ツール#14「計画パートナー調査」

ツール#15「CCC 計画策定のための構造とプロセスの提案」

このセクションに掲載するサンプルツールは、調整担当機関が計画主体の基礎を作るパートナーシップを構築するときに助けになり、グループとその構成員の結束を確保する役に立つ。これらのツールはいくつかの活動に役立てられる。例えば利害関係者の特定や計画参加者の募集、計画参加者についての情報収集、参加者が計画プロセスにどう関与していくかの決定、計画主体内での意思疎通と討議の円滑化などである。

一部のモデル計画州（メーン、ユタ）は、マイクロソフトのアクセスやエクセルなど市販のデータベース・ソフトウェアを使って計画参加者のデータベースを作り上げて維持した。計画参加者のデータベースは、最新のメンバーリストの作成、大量メール機能の創設、会議出席者の追跡に利用できる。このようにして、データベースは CCC 用の計画主体を構築し維持する役に立てる。このようなデータベースの性質はツールキットでの提示には応じにくい。よって、ここでは例を掲載していない。

ツール#9、10「計画会議の招待状と登録用紙」

これらのツールは、利害関係者を計画会議に招待して参加登録できるようにするために利用される。モデル計画州は、全ての会議に何らかの招待状と登録用紙を使用した。ここで紹介する例は、メーン保健局とアーカンソー保健局の職員が作成し、両州の第1回計画会議で使用されたものである。これら2つのツールは通常1つの招待パッケージに同封されている。

招待状は、計画イニシアティブをパートナー候補に紹介し、CCCについて多少の説明を行う機会になる。慢性疾患担当課長か調整担当機関の上層部のだれかに招待状に署名してもらえば、イニシアティブの信用が増加する。

登録用紙は計画会議への登録だけでなく、計画参加者の連絡先情報を集めるのにも役立つ。記入済み用紙を受け取ったら、調整担当機関の職員は情報をデータベースまたは他の記録システムに入力すればよい。さらに、登録用紙によって調整担当者は会議への出席が見込まれる人数を推定でき、適宜計画することが可能になる。またこの情報をもとに、計画調整担当者は予測される出席者と実際の出席者を比較し、計画の取り組みに参加する特定の集団または組織の出席パターンを追跡することができる。主要組織または個人から登録用紙が届かなかった場合、計画調整担当者はさらに追求し、一貫した幅広い参加を確保し、さらには計画主体の代表性を確保するための措置を講じることができる。

ツール#9 招待状のサンプル

氏名

住所

市町村

1999年2月5日

〇〇様

保健局は州規模の CCC のための計画プロセスを進めております。1997年に疾病管理予防センター（CDC）は、CCCを「予防、早期発見、治療、リハビリテーション、緩和ケアを通じてがんの発生率、罹患率、死亡率を低減するための統合的かつ協調的アプローチ」と定義することにより、がんに対するより幅広い取り組みを開始しました。このアプローチは、経営、基礎・応用研究、臨床サービス、評価、健康教育、プログラム開発、公共政策、サーベイランス、ヘルスコミュニケーションをはじめとする多くの領域を統合しています。

CCCはその定義の幅広さゆえ、これまで関与してこなかった幅広い範囲の組織やパートナーを含めることが重要です。1999年3月8日には会議が開かれ、メイン州が今日まで行ってきたがん対策の取り組みの概要と CDC の観点からとらえた CCC について発表されるほか、ミシガン州保健局の体験に基づいた計画モデルが紹介されることになっています。この会議の後、当保健局はメイン州が包括的なやり方でがん対策に取り組むために講じなくてはならない措置の特定を開始します。貴組織はメイン州の CCC 計画の取り組みに関係があることが確認されています。貴組織から、がん予防・管理の推進に関心をお持ちの方を代表として2名この会議にご招待します。ぜひ会議に出席してこの取り組みを継続していただきたいと思えます。

会議は1999年3月8日の午前9時から午後1時まで開催し、終了後はバンゴアのイースタン・メイン・メディカルセンターで昼食を予定しています。会議はポートランドのブルークロス・ブルーシールドでも、テレビ電話会議として午前9時から12時まで開かれることになっています。仮の議事日程と登録用紙を2通同封いたします。貴殿（または貴組織のよりふさわしい職員の方）がメインの CCC の取り組みに参加することに興味をお持ちであれば、同封の用紙に必要事項を記入して、2月19日までに郵便かファックス（XXX-XXXX）で返信してください。ご不明な点がございましたら、アニタ・テグまでお問い合わせ下さい（電話：XXX-XXXX、Eメール：XXX x）。

CCCの取り組みに参加されますことを楽しみにお待ちしております。

敬具

XXXXXXXXXXXX

地域家庭保健課長

同封物（3）

ツール#10 登録用紙（アーカンソーCCC計画）

9:00am-1:00pm アーカンソー大学 学長室
2404 North University Avenue, Little Rock, Arkansas

2000年8月16日

- CCC計画会議に出席する。
- CCC計画会議には出席しないが、今後の計画の取り組みに参加することを希望する。

氏名： _____

肩書き： _____

所属組織： _____

住所： _____

電話番号： _____

ファックス： _____

電子メール： _____

この用紙を8月4日までに郵便またはファックス（XXXXXXXX）で返信してください。ご不明の点がございましたら、XXX-XXX-XXXXのXXXXXXXXにお電話下さい。

ご協力ありがとうございました。

ツール#11、12、13「計画パートナーの関心度および参加誓約用紙」

計画パートナーの関心度および参加誓約用紙は、調整担当機関がパートナーを募集し、そうしたパートナーに計画プロセスへの参加の意思ならびに考える関与の程度を示してもらうために利用される。この種のツールはいくつかのパターンがモデル計画州で使用されているが、目的はどれも似通っている。このツールが会議登録用紙と異なるのは、会議登録ツールは1回の計画会議に限定されるが、こちらは個人または組織に全計画プロセスへの参加者として登録してもらうことを意図している点である。

ツール#11a および b「パートナー関心度調査用紙」

パートナー関心度調査用紙は、調整担当機関が利害関係者に計画イニシアティブに参加者として署名登録してもらい、またほかの組織や個人を計画参加者として推薦してもらうために利用された。ここに紹介する例は（ツール#11a および#11b）はメーン州とカンザス州のものだが、この種の用紙は複数のモデル計画州で使用された。用紙は一般に第1回計画会議の前または最中に、招待状および会議登録用紙と一緒にパートナー候補に配布された。

ツール#12「パートナー参加誓約用紙」

メイン州の調整担当機関はパートナー関心度調査用紙の利用に加え、パートナー参加誓約用紙を使用した。この用紙においては、組織はメイン CCC コンソーシアムに投票メンバーとして参加することを正式に誓約し、組織の代表者と議決権の代理人を指定する。メイン州では計画プロセスの早い段階で、コンソーシアムのメンバーシップを個人ではなく組織に限定することを決定した。個人は関心度調査用紙に記入して、作業グループへの参加といった特定の領域で計画プロセスに関与した。計画が必ずや協働的な取り組みとなり、1つまたは少数の組織の利益が計画文書に過度に代表されることのないようにするために、パートナー組織は組織の代表者を1人と、代表者が活動に参加できないときの代理人1人だけを指名することが認められた。被指名人（代理人）は、コンソーシアム内でのあらゆる公式意思決定プロセスにおいて自分の組織を代表した。言い換えれば、1組織1票ということである。

ツール#13「作業グループ・委員会登録用紙」

このツールは、計画参加者が計画主体のある作業グループまたは委員会に関与する意志を表示するために使用される。このセクションの他のツールは利害関係者が計画プロセス全体に参加し、計画主体のメンバーになることへの興味を示すために利用されるが、この登録用紙は計画主体の下位グループ（例、がん部位または一連のがんサービスの各側面別に構成した委員会または作業グループ）に限定されている。もっとも多くの場合こうした下位グループが計画作業の大半を実行する。イリノイ州はそれ専用の登録用紙を用い、第1回計画会議で利害関係者に配布した。イリノイ州の用紙には連絡先情報、希望する会議場所、作業グループの会合頻度や用紙返却場所についての情報も記入または記載する欄があった。記入を終えた用紙は作業グループのファシリテーターに配られ、ファシリテーターはそこからボランティアに連絡をとって初回の作業グループ会議に招待した。カンザス州とメイン州は、それぞれ関心度用紙と参加誓約用紙を作業グループ登録の要請に併用した。

ツール#11a CCC 関心度調査用紙

メイン州において CCC の計画を開始するためには、州の計画、実施および評価の取り組みの調整機関として機能する諮問機関を作り上げることが不可欠です。この機関は CCC 計画の策定において積極的な役割を果たすこととなります。機関はがん予防・管理諮問委員会と各種小委員会で構成され、前者は執行部の役割を果たし、後者は優先事項の特定のほか、その優先事項に取り組むための目標、達成目標および戦略の決定に対する一義的責任を有します。CAPACAC と小委員会スタッフの調整を助けるために、保健局の職員をサポートにあたらせることになっています。

氏名： _____
肩書き： _____
所属組織： _____
住所： _____
電話番号： _____
ファックス： _____
電子メール： _____

- ・ がん予防・管理諮問委員会への参加に関心がある。
- ・ 小委員会への参加に関心がある。
- ・ 小委員会の議長を務めることに関心がある。
- ・ CCC 事業への参加に関心はあるが、どのように参加するかはよくわからない。
- ・ CCC 事業への参加には関心がない。

CCC 計画プロセスに参加すべきだと思う人物・組織をご記入下さい。

この調査を 2 月 3 日までに XXXXXXXXXX にファックスで送信してください。ご協力ありがとうございました。

ツール#11b カンザス CCC 計画参加関心度調査用紙

CCCは「予防、早期発見、治療、リハビリテーション、緩和ケアを通じてがんの発生率、罹患率、死亡率を低減するための統合的かつ協調的アプローチ」と定義されています。カンザス州で包括的ながん対策を開始するためには、こうした取り組みの計画、実施、評価に力を注ぐパートナーの存在が不可欠です。カンザス州のCCC計画プロセスが成功するかどうかは、自らの専門知識、資源、経験を進んで共有しようとする多様なパートナーの参加と関与にかかっています。

お手数ですが、この用紙にご記入下さい。この機会に、カンザス州のCCC計画の取り組みに対して貴組織の支援と参加をご提供くださるようお願いいたします。また、計画プロセスにパートナーとして参加していただければ幸いです。10月29日までにXXX-XXX-XXXXにファックスでお送り下さい。

氏名： _____ 肩書き： _____
所属組織： _____
住所： _____
電話番号： _____ ファックス： _____
電子メール： _____

- ・私の組織はカンザス州のCCC計画の取り組みに参加することに関心がある。
- ・私の組織はカンザス州のCCC計画の取り組みで指導者の役割を担うことに関心がある。
- ・私の組織はCCC事業に必要なに応じて参加することに関心がある。

最も参加に関心のある作業グループを選んでください（該当するもの全てにチェック）

がん部位： 乳房 子宮頸部 前立腺 肺 皮膚 大腸

分野横断的問題： 資金調達 スタッフ パートナーシップ・インフラストラクチャー
立法 政策・計画 サーベイランス・研究 評価
専門家教育 公共教育 異種集団

削減戦略： 予防 早期発見 治療 リハビリテーション 緩和ケア

このページの裏側を使って、CCC計画プロセスに加わるべき組織をご紹介します。

ツール#12 パートナー参加誓約用紙

組織参加誓約用紙

メイン州の CCC 計画の策定は、州全域のがんに関心のある組織のコミットメントにかかっています。メイン CCC コンソーシアムに参加する各組織は、計画プロセス全体を通じて積極的に参加することを誓約するよう求められます。

組織は代表者 1 名とその代理人 1 名を指名しなければなりません。その代表者は状況の進展や情報を伝え、計画の展開にともなうさまざまな計画要素に対する組織のコミットメントを述べることができます。

1) あなたが代表となっている、このプロセスへの参加に同意した組織の名前と、2) あなた及びあなたの代理人との連絡方法について知るために、次の欄にご記入下さい。

メイン CCC コンソーシアム

に参加する組織の名称： _____

組織の住所： _____

指定代表者

指定代理人

氏名	_____	_____
住所	_____	_____
電話番号	_____	_____
ファックス	_____	_____
電子メール	_____	_____

あなたまたは組織の同僚の方が、メンバーになることに関心のある作業グループがあれば印を付けてください（複数可）。

- ・ 一次予防
- ・ 早期発見
- ・ 治療
- ・ 生存・リハビリテーション
- ・ 緩和ケア

ファックス送信先： XXXXXXXXXX

(XXX) XXX-XXXX

ツール#13 作業グループ・委員会登録用紙

アクティブ・パートナーになろう

イリノイ州公衆衛生局は、州規模の CCC 計画プロセスにあなたが参加されますことを心よりお待ちしております。

次のいずれかの作業グループの一員を務めることにより、このプロセスの活動メンバーとなることをご検討下さい。

II 公共教育とアウトリーチ

(がん情報資源・教材の利用可能性、教育戦略と介入、適切な健康教育モデルの利用)

II 政策とインフラストラクチャー

(現行の政策と立法、唱道の取り組み、阻害要因と戦略)

II データとサーベイランス

(既存および潜在的な州規模のデータソース、サーベイランス計画)

II 質の保証

(システムの構成要素の質と完全性)

作業グループは2ヶ月に1回会合を持ちます。希望される会議の場所をお選び下さい。

シカゴ スプリングフィールド その他(具体的に) _____

氏名: _____ 肩書き: _____

所属機関: _____

住所: _____

電話番号: _____ ファックス: _____

電子メール: _____

作業グループの第1回会議は1998年11月を予定しています。IDPHの職員が各作業グループのメンバーと相談して会議の日時を調整します。

1998年10月30日金曜日までに以下宛てに用紙をご返信下さい。

XXXXXXXXXXXX

Illinois Department of Public Health

535 W. Jefferson St.

Springfield, Illinois 62761

FAX (XXX) XXX-XXXX

ご協力ありがとうございました。

ツール#14「計画パートナー調査」

このツールは、調整担当機関が計画主体のメンバーおよび計画プロセスに参加する他の利害関係者についての情報を集めるのに利用する。パートナー調査で集まる情報にはつぎのようなものがある。

専門分野と関連する経験

計画と実施のための資源（金銭または現物）

がん予防・管理の優先事項に関する意見

CCC 計画の取り組みの必要性に関する意見

がん予防・管理のニーズおよび資産に関するアイデア

CCC 計画プロセスおよびアウトカムに対する期待

計画プロセスへの参加に対する関心および意志。およびどのような立場で参加するか。

アンケートで集まる情報は、計画調整担当者と計画担当メンバーが計画策定のプロセスを綿密に打ち出し、計画構成要素の実施に向けて準備する際に役立てることができる。

ここに紹介する2つの例は、この情報を集めるための2つの異なる手法を示している。ツール#14aの「CCC 計画パートナー調査」は、アーカンソー、イリノイ、ケンタッキーで用いたパートナー調査アンケートを混合したものである。このアンケートは比較的短いもので、少ない数の自由回答式の質問を用いている。この種のアンケートの場合、回答者は自分が適当と思ったことを自分の言葉で答えることができる。

2番目のツール#14b「ユタ CCC 組織関心度調査アンケート」は、ユタ州の調整担当機関が策定して使用したものである。このアンケートはより構造化されて選択方式の質問を使用し、質問数も多く、より幅広いテーマを扱っている。ユタ州のアンケートはツールキットの本セクションで述べた関心度調査用紙の要素も組み込んでおり、回答者に計画プロセスへの参加の関心と意志を尋ねたり、ほかに参加すべき利害関係者がいれば推薦するよう要請したりしている。

モデル計画州では、こうしたアンケートは一般に、調整担当機関が最初の活動の準備をする計画の取り組みの初期の段階で配布された。調査結果をまとめ、記入済みの「州の CCC 計画のための能力の自己アセスメント」（ツールキットのインフラストラクチャー強化のセクション参照）と一緒に計画参加者に配布することによって、州のがん予防・管理の状況をメンバーに教えることができる。

ツール#14a CCC 計画パートナー調査

CCC は「予防、早期発見、治療、リハビリテーション、緩和ケアを通じてがんの発生率、罹患率、死亡率を低減するための統合的かつ協調的アプローチ」と定義されています。[州・準州・部族名を入れる]で包括的ながん対策を開始するためには、こうした取り組みの計画、実施、評価に力を注ぐパートナーの存在が不可欠です。[州・準州・部族名を入れる]の CCC 計画プロセスが成功するかどうかは、自らの専門知識、資源、経験を進んで共有しようとする多様なパートナーの参加と関与にかかっています。

お手数ですが、[州・準州・部族名を入れる]における CCC 計画の取り組みに対するあなたの考え方と期待することについて、次の質問にお答え下さい。

1. がんの予防・管理における [州・準州・部族名を入れる] の最大の強みは何ですか？
2. [州・準州・部族名を入れる] のがん予防・管理を改善するためにあなたが 1 つ変えることができるのであれば、それは何でしょうか？
3. 主要ながん関連の優先事項で、[州・準州・部族名を入れる] でもっと包括的に取り組む必要があると思うものは何ですか？ 2 つ挙げて下さい。
4. 貴組織の有する経験、資源、および・または専門分野で、この取り組みに貢献するものは何ですか？（例、事務サポート、財源、職員の時間と専門技術など）
5. [州・準州・部族名を入れる] において包括的ながんに取り組もうとするこの取り組みに対して、あなたは何を期待しますか？

6. あなたの職業を最もよく表す項目に印を付けて下さい。

医師

地域団体

看護師

その他の保健医療提供者

健康教育士

衛生行政官

がん生存者

政府職員

がん登録官

その他：具体的にお書き下さい _____

7. [州・準州・部族名を入れる] のがん管理計画の草案を検討する際にコンサルタントとして参加する意志はありますか？ ある場合、あなたの氏名、住所、電話番号、電子メールアドレスをこの調査用紙の裏側にご記入下さい。ご協力大変ありがとうございました。

ツール#14b ユタ CCC 組織関心度アンケート

(全て記入して下さい)

組織名 _____ 担当者氏名 _____
住所 _____ 電話 _____
_____ 電子メール _____

Q-1 あなたまたはあなたの組織のがんに関する特定の関心分野または専門分野は何ですか？

Q-2 がん対策について州規模の総合計画が必要だと思えますか？ (番号を○で囲む)

1. はい
2. いいえ

(答えの理由)

Q-3 あなた及びあなたの組織にとって州の計画に価値があるとすれば、どのようなものですか？ (該当するもの全てを○で囲む)

1. 自分自身の計画を策定するための枠組みが得られる
2. 自分の組織内の認知と教育が向上する
3. 組織間のサービスの調整が改善する
4. サービスの格差が同定される
5. その他 (詳しくお書き下さい)

Q-4 あなたまたはあなたの組織は、がん対策のための総合計画を策定するイニシアティブにおいてどのような援助を提供できますか？ (該当するもの全てを○で囲む)

1. がん関連データへのアクセス
2. がん関連組織とのネットワークの構築
3. 治療の専門知識・技術
4. 特別な集団の経験、その集団へのアクセス
5. 予防の専門知識・技術
6. 会議用施設
7. 患者の視点に関する知識
8. その他 (具体的にあげて下さい)

Q-5 貴組織の戦略計画の中で、がん対策を特に取り上げていますか？ (番号を○で囲む)

1. はい
2. いいえ

ツール#14b (続き)

Q-6 質問5で「いいえ」と答えた場合、今後がん対策向けの戦略計画を策定する予定がありますか？ (番号を○で囲む)

1. はい
2. いいえ

Q-7 あなたの考えでは、ユタ州におけるがん関連の問題について、取り組みの改善が必要と思われるものは何ですか？ (該当するもの全てを○で囲む)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 公共教育 | 5. サーベイランスの改善 |
| 2. 専門家教育 | 6. 資金調達 |
| 3. 立法 | 7. その他 (具体的にあげてください) |
| 4. サービスへのアクセス | |

Q-8 あなたの考えでは、がん対策におけるユタ州最大の強みは何ですか？

Q-9 あなたの考えでは、がん対策におけるユタ州最大の弱点は何ですか？

Q-10 あなたまたはあなたの組織がこのイニシアティブに参加するとした場合、貴組織は具体的にどのような恩恵を受けることを期待しますか？

Q-11 ユタ州におけるがん予防・管理を改善するためにあなたが1つ変えることができるとすれば、それは何でしょうか？

Q-12 あなたまたは組織のどなたかに、CCC計画の策定を助けるために委員会または作業グループに参加しようという意志はありますか？ (番号を○で囲む)

1. はい
2. いいえ

Q-13 ほかにどのような組織、グループ、個人がこの取り組みに関与すべきだと思いますか？ (具体的にあげてください)

組織名

担当者

電話番号

- 1.
- 2.
- 3.

ご協力ありがとうございました。

ツール#15 「CCC 計画策定のための構造とプロセスの提案」

このツールは、CCC 計画策定のための構造とプロセスに関して、計画主体内の議論を活性化しコンセンサスを得るために利用する。ここで紹介する例は、メイン州の調整担当機関が州内の最初期の計画会議中に策定して使用したもので、1 ページ分の図表になっている。図表では、計画の段階案、各段階に関与するグループとその役割、それらの段階で行われる活動が説明されている。図表の示している概念は、利害関係者の小グループ（コア計画チームを含む）内で行われたブレインストーミングの結果できあがったものである。このグループの成果物は議論を活性化するために計画主体の第 1 回会議で提示され、どのように進めていくかについてコンセンサスを得た。このツールは、計画プロセスにおいて参加者になにが期待できるかについての共通理解を促し、計画主体内の結束意識を高めるのに役立った。メイン州では計画プロセスの進行にともない計画主体内で新たな議論がもたれ、構造とプロセスが進化した（修正された側面もあれば、より詳細かつ具体的に運用された側面もあった）。

このツールは、視覚的な表示（論理モデル、表、ダイアグラム）を利用することによって大きなグループにアイデアを伝え、討議と意思決定の促進を図る好例である。このような意思疎通はあらゆる計画プロセスの重要な構成要素であり、同様の目的に多種多様な視覚的な表示が利用できる。

ツール#15 CCC 計画策定のための構造とプロセスの提案（メーン州：1999年6月8日）

I. 準備	グループ:	役割:	活動:
1998年3月	保健局	1. CDCの（ケーススタディの）選抜を受け入れる	
1999年3月	がん予防・管理諮問委員会との共同	2. バテール研究グループと協働する 3. CDCの予防専門家を雇用する	CDC、バテールによる評価 1999年4月会議
II. 計画の策定	保健局 ↓ コンソーシアム 参加を誓約したメーン州の 人の利害を代表する組織・個人	1. 取り組みを開始する 2. コンソーシアムを結成し、2名の共同議長の任命する	1999年6月会議
	調整委員会 保健局、共同議長 ACSスタッフ	1. メーン州におけるがんに対する戦略的アプローチを策定する 2. 戦略の要素（作業グループ）を代表する人々・組織を任命する 3. 作業グループがデータと優先事項を提示するのにもない、コンソーシアムは進捗状況の報告を受け、指導と意見を提供する 4. 作業グループの最終報告を受け、優先順位を最終決定する	3~4ヶ月ごとの運営委員会、作業グループ会議の開催
計画完成	作業グループ (コンソーシアム内外の) リーダーシップを指定された専門知識・資源をもつ組織・個人	1. プロセスの決定を下す 2. 調整、円滑化 3. コンソーシアムのために課題の第一段階のレビューをする	毎月の会議の開催
2001年1月		1. 上記に特定の内容分野に対する根拠を開発する、 2. 特定分野における優先事項に関してコンソーシアムに報告する	最終報告まで会議・カンファレンスの召集
III. 計画の実施			
IV. 進捗の評価			

5.0 がんの負荷のアセスメントと対処

このセクションで紹介するツール

ツール#16「課題声明書作成ガイド」

ツール#17「達成目標リトマス試験」

ツール#18「目標および達成目標を選ぶための投票用紙」

ツール#19「利害関係者および地域への情報提供データマップ」

このセクションで紹介するサンプルツールは、包括的計画主体のメンバーが自分の州におけるがんの負荷をアセスメントおよび評価し、その負荷に対処するための目標、達成目標、戦略を策定して選択するときに役立つ。この間に計画主体が生み出す情報と資料は計画そのものの土台を形成し、計画をアセスメント可能なものにするという意味において、負荷のアセスメントと対処は計画プロセスにとってきわめて重要な段階なのである。この段階の活動は、計画プロセスの協働と参加の性質を強化し、参加者の間に強い当事者意識を生み出すことができる。

ツール#16「課題声明書作成ガイド」

このセクションのツールは、ある州におけるがんの負荷に関する課題または問題声明書を作成するのに利用される。このセクションで紹介する最初のツール（ツール16）「課題声明書作成ガイド」は、メーン、カンザス、ユタの各州で用いた類似ツールを混合したものである。最初にメーン州がツールを策定して使用し、後にカンザス州とユタ州がそれを借りて自州用に手直しして使用した。

課題声明書作成ガイド（ツール#16）は、作業グループや委員会が多少の経験的根拠の基礎をともなって首尾一貫した綿密な課題声明書を作成するのを助けるために作られたワークシートである。注目すべきは、このワークシートを使う際には、課題または問題を同定した根拠を述べ、同定に用いたデータソースを記載し、声明書を裏付ける具体的なデータを提供しなければならない点である。このワークシートはまた、課題の対象となる集団について使用者に考えさせ、取り組みに影響する可能性のある課題の側面を検討するよう促すものである。記入し終えた課題声明書は、定義された問題に対処するための目標、達成目標、戦略を選択するという次のステップの基礎として役立つ。モデル計画州においては、プロセスの次の段階に進む前に課題声明書が計画主体に提示され、再検討と議論を経るのが一般的だった。

このツールは、ある州においてがんの負荷をアセスメントし定義し、次にそこで得たアセスメントを利用してがんの負荷に対処するための目標、達成目標、戦略を策定するという全体的なプロセスの1つの側面を表している。

ツール#16 課題声明書作成ガイド

この表は、作業グループが CCC イニシアティブの課題声明書を作成する際の補助として作成された。一貫性と科学的健全性を確保するために各問題声明書に利用することを推奨する。

課題の提示	
その課題を同定・選択した根拠（関係資料に基づく）	
質問	関係資料
あなたの課題提示は、根拠に基づき、かつ具体的で定量化できますか？	データソース：
1. あなたの課題提示は以下の項目を考慮していますか？：発生率、死亡率、QOL、格差、インフラストラクチャー	発生率データ： 死亡率データ： QOL： 集団間の格差： インフラストラクチャー・サービス：
3. 当てはまる場合、可能なあらゆる選択肢を検討しましたか（あらゆるがん、介入、特別な集団など）	
4. あなたの課題提示はユタ CCC イニシアティブの任務に関係していますか？どのように？	
集団： <u>タイプ</u> ・ 民族 ・ 地域別 ・ 障害者 ・ 年齢・性	<u>グループ</u>
	<u>問題</u>
作業メモ	

ツール#17 「達成目標リトマス試験」

このツールは、SMART の枠組みで計画の達成目標をアセスメントするために用いる。SMART とは、具体的 (Specific)、測定可能 (Measurable)、達成可能 (Attainable)、現実的 (Realistic)、期間限定的 (Time-phased) を簡略化して覚えやすくした呼称である。この枠組みを使った場合、計画達成目標が呼称の各頭文字の示す基準を満たせば、その達成目標は適切であるとみなされる。この枠組みは戦略計画イニシアティブでしばしば用いられる。これらの基準をすべて満たす達成目標を策定すれば、(a) その達成目標に対応する戦略の実施が容易になり、(b) 達成目標が果たされたかどうかを判断するプロセスが簡略化される。

達成目標リトマス試験は、カンザスがんパートナーシップのコア計画チームのメンバーの1人がCDCの提供した資料を基に策定したものである。パートナーシップの作業グループがある計画会議でこのツールを使い、それ以前に策定していた達成目標草案をアセスメントした。作業グループのメンバーは、SMARTの5つの構成要素に対応するチェックリストの各項目に照らして、達成目標草案を再吟味した。カンザスがんパートナーシップの作業グループには、カンザス州保健環境局の職員がファシリテーターとして配属された。ファシリテーターは、これらの活動の行われる計画会議に先立ち、SMARTの枠組みとリトマス試験ツールの使用法に関して研修を受けた。

ツール#17 達成目標リトマス試験

達成目標 (objective) : 目標 (goal) を達成するための具体的かつ測定可能なターゲット

各目標に関して、達成目標がリトマス試験の基準を満たすかどうかを示しなさい。ある目標における各達成目標について1つの列に記入しなさい。

達成目標チェックリスト

目標 (goal)	達成目標の数 :				
	1	2	3	4	5
テスト質問					
その達成目標は具体的で望ましい成果を反映しているか?					
達成目標への到達に向けた進捗状況を測定できるか?					
その達成目標は達成可能かつ現実的であるか (計画期間と利用可能な資源を考慮した上で)?					
その達成目標は、活動ではなく現実的な結果を明示しているか?					
その達成目標への到達に対して具体的な時間枠が設定されているか?					
その達成目標への到達は目標の達成につながるか?					
各目標に対して少なくとも1つの達成目標が設定されているか?					
その達成目標はデータと理論に裏づけられているか?					
作業グループをよく知らない者がその達成目標の意味するところを理解するだろうか?					
その達成目標を満たすことについてだれが説明責任を負うのか決まっているか?*					

* CCCP参加者にとってこの時点でのこの質問は時期尚早だが、グループは「だれが」ということについて考え始めておいたほうがよい。所与の達成目標のリーダーにはどの機関が最もふさわしいか?

ツール#18「目標および達成目標を選ぶための投票用紙」

目標および達成目標を選ぶための投票用紙は、作業グループまたは委員会の策定した目標および達成目標のうち、どれを最終計画に盛り込むか決めるための選抜と優先順位決定に利用できる。このツールはメイン CCC コンソーシアムのコア計画グループが策定した。コンソーシアムの作業グループは最終的な一連の目標と達成目標を策定し終わると、それを作業グループのカテゴリー別（例、一次予防、早期発見、治療、リハビリテーション・サバイバーシップ、緩和ケア）に構成した一覧表にまとめた。

投票用紙は選んだ目標と達成目標ごとにチェックボックスを付けている。ほかに投票用紙には、組織の代表がそれを達成するための戦略の支援に対する自分の組織の関心または意志を示せるように、各目標および達成目標の横に空欄も添えられている。投票用紙は、計画全体会議に先立ってコンソーシアムの全メンバーに郵送された。この計画全体会議では、コンソーシアムが全体として目標と達成目標に投票を行うことになっていた。計画会議に出席しないメンバーは投票用紙に記入して、「不在者投票」として返送することができた。（対面投票の仕組みとしては正規には用いられないが）計画会議に出席したメンバーには、文書により、会議での投票に先立って目標と達成目標を再吟味する機会が与えられた。会議での投票では、投票用紙と同じ情報を記載した大きな紙が会議室の壁に貼られ、コンソーシアムのメンバーはそれらの紙の前をぐるぐる回って自分の望む項目にしるしを付け、自分の組織の支援を記入した。投票用紙にはコンソーシアムのメンバーに対し、どの目標と達成目標を選択するか考える際には一定の基準を検討するようにとの指示が書かれている点に注意する。この基準の意図は、目標と達成目標の選択を5年の実施期間に取り組むことが合理的に可能なものに限定することである。

ここに紹介するサンプルは実際の投票用紙の短縮版である。実際はこれよりもずっと長い。サンプルでは、作業グループのうち2つ（一次予防と早期発見）に対する目標と関連達成目標とを取り上げている。